

地域再生計画（地方創生道整備推進交付金）事後評価調査

都道府県名	愛知県	事業実施主体	愛知県、岡崎市	地域再生計画名	ものづくり愛知を支え、より住みやすく安全で活力あるまちづくり計画
計画期間	令和２年度～令和６年度	評価責任者	岡崎市土木建設部長 神谷 秀樹		

①地域再生計画に記載した数値目標の実現状況	地域再生計画の目標		基準年度		中間目標値			最終目標値		事後評価	達成状況		最終目標値の実現状況に関する評価	
	目標				年度	中間実績		基準年度	最終実績		指標総数	達成数		
	目標1	交通事故死傷者数の減少	2,091件	R元	2,071件	R4	1,245件	1,987件	R6	970件	○	5	4	市道整備による道路通行の利便性と安全性の向上が、事故件数の減少につながり、交通事故死傷者数の減少に寄与しているものと考えられ、設定した目標を達成した。
	目標2	創業者数の向上	846人	H30	1,356人	R4	1,439人	1,696人	R6	1,830人	○			市道整備により交通環境の改善や利便性の向上が創業者数の増加に寄与しているものと考えられ、設定した目標を達成した。
	目標3	耐震性の問題のある橋梁の減	7橋	R元	4橋	R4	4橋	0橋	R6	0橋	○			事業進捗が図られる路線を優先的に整備を行うなどの対策を講じた結果、設定した目標を達した。
	目標4	観光交流人口の増加	95万人	R元	98万人	R4	106万人	100万人	R6	233万人	○			岡崎城公園内に設置された「大河ドラマ館」の効果や乙川リバーフロント地区公民連携まちづくり基本計画に基づくまちの活性化プロジェクトの成果が現れたものと考えられ、設定した目標を達成した。
目標5	林業の振興 (森林素材生産量の増加)	3,726m3	H30	5,000m3	R4	4,642m3	5,600m3	R6	4,976m3	×	林道の整備は計画的に進められており、関連事業として木の駅プロジェクトなどの取り組みを継続的に行っているが目標値に達しなかった。その理由は、林道整備延長が計画数量に届かなかったことや、発注前の調整が整わず、間伐作業が遅れ木材の搬出作業を来年度に先送りしたことであると考えられる。			
②事業の実現状況に関する客観的な指標（KPI）の実現状況	重要業績評価指標（KPI）		基準値		中間目標値			最終目標値		事後評価	達成状況			
	指標1	歩道のバリアフリー化率	35.7%	R元	36.4%	R4	36.3%	37.0%	R6	36.8%	×		一部事業に遅れが生じており整備量や事業費が計画どおりに進まなかったことから、わずかではあるが設定した目標には届かなかった。	
	指標2	雇用の創出 創業者数	846人	H30	1,356人	R4	1,439人	1,696人	R6	1,830人	○		市道整備により交通環境の改善や利便性の向上が創業者数の増加に寄与しているものと考えられ、設定した目標を達成した。	
	指標3	観光交流人口数 主要観光書店訪問者数	95万人	R元	98万人	R4	106万人	100万人	R6	233万人	○		岡崎城公園内に設置された「大河ドラマ館」の効果や乙川リバーフロント地区公民連携まちづくり基本計画に基づくまちの活性化プロジェクトの成果が現れたものと考えられ、設定した目標を達成した。	
	指標2	林業の振興 森林素材生産量	3726㎡	H30	5,000㎡	R4	4,642㎡	5,600㎡	R6	4,976m3	×		林道の整備は計画的に進められており、関連事業として木の駅プロジェクトなどの取り組みを継続的に行っているが、わずかではあるが目標値に達しなかった。	
③事業の進捗状況	事業名		整備量（その他の事業では取組内容）			事業の進捗状況に関する評価								
			計画	中間年度 (R4)	最終実績									
	地域再生計画に記載がある特別の措置を適用して行う事業	市道整備事業	10,300m	4,541m	8,195m	一部路線で地元調整に時間を要し、工事まで至ることができなかった。しかし、事業進捗が図られる路線については重点的に道路網の構築を促進し、その結果、各目標の達成につながったと考えられる。一方、更なる経済振興、観光振興を図るため未完了路線の早期事業着手による事業効果の発現や道路ネットワーク強化に努めたい。								
		林道整備事業	1,410m	780m	1,100m	林道特有の急峻な地形等により整備延長は計画延長に達していないものの、林道整備により今まで森林施策が困難であった地域について充実した森林へのアクセス改善が図られた結果、森林素材生産量の増加に繋がったものと考えられる。まだ未間伐地域が存在するほか、山間地域の衰退に十分な歯止めがかけられないことから引き続き事業を実施し山間地域の活性化を促進したい。								
	その他の事業													
	計画外で独自に実施した事業	木の駅プロジェクト	出荷しやすい短い間伐材を地域通貨券で買い取り	平成27年度より、岡崎市額田地区において放置状態にある木材を地域の山林所有者に搬出してもらい、その対価として地域通貨を発行し、地域の商店等で利用させ、地域経済の活性化を図る取り組みを進めている。毎年1,000t程度の間伐材の出荷、買い取りが行われ間伐の促進や地域商店の活性化に寄与しているが、出荷者人数は年々減少傾向にある。										
		岡崎市産材住宅建設事業費補助	岡崎市産木材の利用促進	地元産木材を積極的な利用を推進するため、岡崎市産材を利用した住居専用の戸建住宅の建築に対して補助を行い、市内の森林整備の推進や林業、木材業、建築業などの地域産業活性化を図った。										
		高性能林業機械の導入	高性能林業機械の導入により、作業の効率化、低コスト化の実現	岡崎市森林組合が高性能林業機械を導入することで作業の効率化、低コスト化を図ることが可能となる。それにより、林業従事者の負担軽減が図られ、作業環境の向上が図られた。										
乙川リバーフロント地区公民連携まちづくり基本計画		中心市街地における公民連携による回遊性の実現、まちの活性化	リバーフロント地区内の豊富な公共空間を活用して、パブリックマインドを持つ民間を引き込む公民連携プロジェクトを実施することにより、その回遊性を実現させ、波及効果として、まちの活性化を図った。											
作業道開設・改良事業費補助		作業道整備に対する補助金交付	森林整備に必要な路網(作業道)整備に対して補助を行うことにより、森林資源の育成・利用及び森林の持つ公益的機能の向上を図った。											
④評価方法	評価委員会を開催し、最終目標値の実現状況に関する評価・検討等を行った。													
⑤事後評価の公表方法	岡崎市のホームページに掲載													
⑥計画全体の総合評価	本地域再生計画では、道整備交付金を活用した市道整備と林道整備を一体的に行うことにより、地域間のネットワークを強化し、安全な道路空間の確保、経済振興、観光振興の効果が目標値を超え発現していると考えている。さらに、林業振興も促進され、雇用の創出が発現したものだと考えられるが、森林素材生産量の増加をさせるには至っていない。このことから、林業振興施策とより連携して投資効果を高める必要がある。													
⑦今後の方針等	本計画を終え、目標5のみ達成することができなかったが、経済振興、観光振興の効果が目標値を超え発現した。今後は、更なる地域再生を図るため、（仮称）岡崎阿知和スマートインターチェンジや愛知県初の本格的アウトレットモールといった新たな経済拠点による効果を高めるための道路整備を推進していきたい。また、山間地域におけるさらなる林業振興や観光・交流人口の増を図るために、林業六次産業化の促進のため林業経済活動ルートや都市部と山間部を結ぶ観光周遊ルートにおける道路機能強化をしていきたいと考えている。													